

ギャラクシー賞贈賞式

翌日(6月5日朝刊)の

新聞各紙



ギャラクシー賞にキョンキョン

「若者を先導」など評価
昨年度の優れた番組を表彰する「第49回ギャラクシー賞」の贈賞式が4日、都内で開かれ、テレビ部門の個人賞を受賞した女優、小泉今日子(46)が出席した。写真。1月期のフジテレビ系主演ドラマ「最後から二番目の恋」が、二番目の恋」などが評価された。ヒロインとの共通点に「40過ぎて独身で、仕事しかない」というところかなと苦笑。それでも「景気の良い時代を知っている私たちの世代が元気に生きて先導できればいい」と胸を張った。

サンケイスポーツ

スポーツニッポン



ギャラクシー賞 キョンキョン 「若者を先導」

本の主演ドラマの演技が評価。「最後」ではテレビプロデューサーの独身女性を演じ、「40歳をすぎ仕事、信じるものは自分と共通して」と自らに贈られる「第49回ギャラクシー賞」授賞式に出席した。写真。テレビでずっと、景気の良い時代を知っている私たちの世代が元気に生きて、若者を先導「最後から二番目の恋」の2、していきたいと話した。



「信じるものは仕事だけ」

独身キョンキョン 爆笑授賞式
優れた番組などに贈る「恵比寿のウエスティン」の第49回ギャラクシー賞(放送批評懇談会主催)の授賞式が4日、東京は、今年でデビュー30周年の女優小泉今日子(46)が、フジテレビ系ドラマ「最後から二番目の恋」や「WOWOW」のドラマ「贖罪」での演技力が評価された。お色気ムンムンの黒いミニスカワンピース姿で登場した小泉は「最後から二番目の恋」で演じたヒロインとの共通点を問われ、「40(歳)過ぎて独身で、信じるものは仕事しかない」と自らコメントで笑われた。

東京新聞



キョンキョンの「WOWOW」

46歳 女優の小泉今日子(46)が優秀なテレビ番組などに贈られる「第49回ギャラクシー賞」の授賞式に出席した。写真。WOWOW「贖罪」の2

スポーツ報知



ディレクターズ 「贖罪」

たどりに「世の中に明るいニュースはなくて、特に若い人は不安を覚えている時代。景気のいい時代を知っている私たちの世代が、元気に生きて先導していきたい」と笑顔を見せた。



キョンキョン「ギャラクシー賞」

女優小泉今日子(46)が、49回ギャラクシー賞のテレビ部門個人賞に選ばれた。レビ部門個人賞に選ばれた。4日、都内の贈賞式に出席した。写真。1月期のフジテレビ系ドラマ「最後から二番目の恋」で、働く40代独身女性を演じた。小泉は40歳を過ぎて、独身で、仕事しかない、信じるものは仕事だけ、というの世代を先導していきたいと話した。

第8回通常総会開催 事業報告、決算、 事業計画、予算承認

◆NPO法人放送批評懇談会 第8回通常総会報告

GALAC・8月号・付録
2012年8月6日発行(毎月1回6日発行)
昭和43年3月8日第三種郵便物許可
〒160-0022
東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F
NPO法人放送批評懇談会
TEL (03)5379-5521/FAX (03)5379-5510
ホームページ http://www.houkon.jp/
Eメール kondankai@houkon.jp
編集・橋本 隆

の各事業ごとに委員長、担当者から報告があり、拍手で承認された。第3号議案(2011年度収支決算)

事務局長より決算案が報告された。収入が予算を下回り、費用の節減に努力したが昨年に続き赤字となり、繰越積立金を取り崩す決算となった。

①監査の結果、決算報告は適正である。
②赤字が恒常化することのないよう、より適切な事業・予算計画をご立案ください。
との報告があった。議案は拍手で承認された。

第4号議案(第8期、9期役員)定款細則第1条にしたがって、理事会準備会で作成された第8期、

9期の理事候補者24名が提案され、賛成多数で承認された。ここで総会を一時中断して、新しく選任された理事による第1回理事会を開いて、互選、指名によって音理理事長をはじめ、理事の役職を決めた。名誉会長は引き続き清水英夫氏、監事2名は新しく隈部紀生氏、鈴木典之氏にお願いすることとし、総会を再開して新役員が承認された。

*新役員は別掲の通り。
第5号議案(2012年度事業計画)
各委員長、担当者より新年度の事業計画が提案され、承認された。第6号議案(2012年収支予算)

事務局長より、総額8607万円の予算案を説明、提案し、拍手で承認された。
創立50周年を記念する事業を特別会計として計上。承認された。

第7号議案(定款変更)
放送批評懇談会の英語表記を「ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS」と変更し、定款変更を行う案を橋本隆専務理事が提出。

ほうこん

題字・清水英夫

拍手で承認された。

この後、総会議事録に議長と共に署名する議事録署名人2人を選任して午後4時40分に総会を終了した。

◆6月理事会報告

6月16日総会に先立って6月理事会を開催した。

1. 総会議案の承認

総会に提案する議案について審議した。

事業報告案、決算案、事業計画案、そして、予算案について、各事業担当の委員長、担当者からの説明があり、承認した。

2. 正会員入退会の件

〈入会〉

池本孝慈さん、稲塚秀孝さん、小

川幸子さん、河合良文さん、紺野望さん、鈴木健司さん、古川柳子さん、堀川恵子さん、松浦正和さん、宮崎美紀子さん
〈退会〉

芦沢務さん

3. その他

①記念事業プロジェクトの解散
記念事業プロジェクトの解散を承認。50周年委員会の設置を承認。

②NHK「ザ・ベストテレビ、ザ・ベストラジオ2012」の件

NHK「ザ・ベストテレビ、ザ・ベストラジオ2012」への協力を了承。

◆次回以降の理事会

7月 7月23日(月)
8月 未定

会議記録

〔6月〕

12日 (選奨) CM定例会部会
16日 理事会・第8回通常総会
25日 (選奨) ラジオ定例会部会
27日 出版編集委員会
29日 (選奨) テレビ月評会

第8期、第9期役員

名誉会長	清水英夫
理事長	音好宏
専務理事	橋本隆 (総務担当)
常務理事	上滝徹也
	小田桐誠文 (50周年委員長)
	藤田真文 (出版編集委員長)
	飯田みか (出版編集委員長)
	藤久ミネ (選奨事業委員長)
	碓井広義 (企画事業委員長)
	丹羽美之 (選奨事業委員会 テレビ部門委員長)
	桜井聖子 (選奨事業委員会 ラジオ部門委員長)
	五井千鶴子 (選奨事業委員会 CM部門委員長)
	鈴木嘉一 (選奨事業委員会 報道活動部門委員長)
	滝野俊一 (マイベストTV賞 プロジェクトリーダー)
	石井 彰
	市村 元
	入江たのし
	川喜田尚
	小林 毅
	坂本 衛
	嶋田親一
	田中早苗
	中町綾子
	稗田政憲
	中島好登
	隈部紀生
	隈部典之
	鈴木信夫
	志賀 志

監 事
名誉会員

【退任】
理事・兼高聖雄、隈部紀生、
河野尚行、山田健太
監事・田代勝彦、原由美子

ラジオの現場は才能の宝庫だった

田中秋夫

私は東京オリピックが行われた1964年に文化放送に入社して以来、昨年6月にFM NACK5を退職するまでの47年間一貫してラジオの編成畑の仕事をしてきました。その間、数々の才能ある人々に出会うことが出来ました。出会った頃は無名の若者だった人達がその後「放送の世界」「音楽の世界」「活字の世界」等で活躍する場面を沢山見えました。まるでラジオの現場が若者の才能を伸ばす「学校」だったような気がします。「深夜放送」がブームだった時代などは特にその傾向が強かったように思います。ラジオが厳しい時代で制作費が削られる中、制作現場は若者達が中心でした。その中から沢山の才能が輩出しました。ラジオの醍醐味はここにあると思います。

現在ラジオ業界は経営的に大変厳しい状況が続いています。もう一度「ラジオルネッサンス」を起こす為にも若い才能の発掘が急務だと思われます。放蕩でも新しい才能の発掘に尽力したいと思います。

新入正会員自己紹介

電通からACジャパン、そして：

草川衛

1947年生まれ、団塊の世代です。1971年に大学を卒業して電通に入社し、41年間ずっとクリエイティブ畑で仕事をしてきました。テレビCM、ラジオCMを中心に広告の元気な時代に好きなことをやらせてもらって、とっても幸せな時間を過ごしました。最後の6年はACジャパンで「公共広告」を発信する仕事に当たってました。ACの広告は商業広告と違って、企業や物売るものではありません。世の中を良くするための提案を数多く作りましたが、幅広い層の人たちにどのように受け止めてもらえるのかを考えたのが、私の仕事で、思ったほど簡単ではありませんでした。それでも、私自身いいなと思ったCMのいくつかを、ギャラクシー賞に選んでいただきました。

6月の退任後は、個人作業に徹しようかと考えていたところ、五井千鶴子さんのお誘いがあり、放送批評懇談会に参加させていただくことになりました。もう少し広告とお付き合ひさせてもらいます。

新入正会員自己紹介

二十歳からずっとCM漬け

秋吉淳一郎

早稲田3年の春、ゼミの小林太郎教授に「松下の宣伝に行ってみろ」と命ぜられ、東京宣伝課(当時は番組とCMの一部を企画制作する部署)になんとなく出社したことが「漬け」の始まり。

大橋巨泉さん、朝丘雪路さんの11PMの生コマを担当した(人手不足?)。夏休みには大阪門真市の本社の宣伝事業部に。カラーテレビのCMのコンテ書きやロケハン、撮影などを体験し、4年の春になって入社試験を受け、放送部制作課にCMプランナーとして入社した。

以後CM一筋。千本以上のCMを作っただろうか。40歳半ばからクリエイティブ部長、50を過ぎコミュニケーション、マーケティング、松下傘下の広告企画制作会社の経営などを担当し、仕事は広範囲になっただが、真ん中にはいつもCMを置いた。そして、あちこちでの講義や業界のあれやこれやで、いまだに片足CM漬け。趣味はラグビー観戦、釣り、骨董などが多い。お酒好き。よろしく願います。